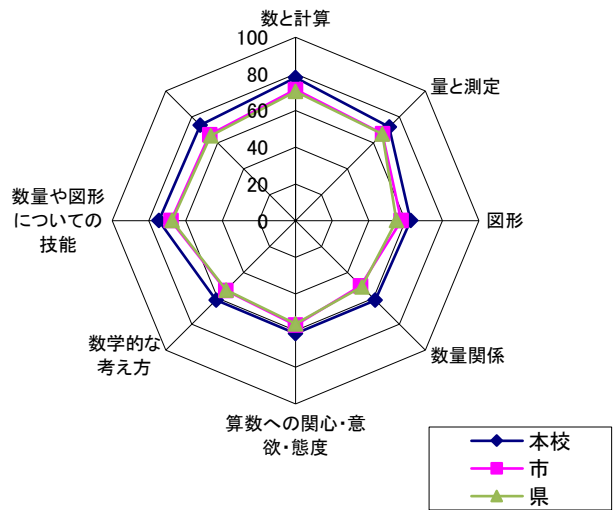


宇都宮市立横川中央小学校 第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	78.0	71.5	70.4
	量と測定	72.2	67.0	66.9
	図形	62.7	57.6	55.0
	数量関係	61.4	50.2	51.1
観点	算数への関心・意欲・態度	61.6	57.0	56.3
	数学的な考え方	61.3	53.8	53.6
	数量や図形についての技能	74.6	68.0	67.4
	数量や図形についての知識・理解	73.6	66.3	65.4



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○数と計算の平均正答率は、78.0%で、県の平均を7.6ポイント上回っている。 ○分数の計算では、真分数＋帯分数の問題の正答率が、82.9%、帯分数－真分数の問題の平均正答率が87.8%で、それぞれ、県の平均を12.2ポイント、12.4ポイント上回っている。 ●2けた÷1けたのわり算の問題では、86.6%と、県の平均を2.1ポイント下回っている。	・授業や朝の学習、家庭学習などで、わり算の計算練習に取り組ませることを通して、基礎的な計算力を身に付け、さらに向上させていく。また、わり算の筆算に必要となるかけ算九九やくり下がりのあるひき算の問題についても、継続的に取り組ませ、確実な定着を図る。
量と測定	○量と測定の平均正答率は、72.2%で、県の平均を5.3ポイント上回っている。 ○長方形の面積を求める問題では、正答率が93.9%と、県の平均を5.7ポイント上回っている。 ●「身近にあるもののおよその面積を求める」問題の正答率は、41.5%と、県の平均を3.1ポイント上回っているものの、誤答が目立つ。	・身の回りにある正方形や長方形の面積を実際に調べる活動を通して、日常生活と関連させ、面積の意味を理解し、面積についての感覚を身に付けられるようにする。
図形	○図形の平均正答率は、62.7%で、県の平均を7.7ポイント上回っている。 ○「四角形の対角線の性質を理解する」問題の正答率は、75.6%で、県の平均を15.8ポイント上回っている。 ●「直方体のある辺に垂直な辺を理解する」問題の正答率は、69.5%であり、県の平均を4.6ポイント上回っているものの、誤答が目立つ。	・授業の中で、「垂直」や「平均」といった言葉の意味を確認し、練習問題に繰り返し取り組ませたり、個別指導をしたりすることで、立体図形の頂点、辺、面の対応関係を正しく捉えることができるようにする。
数量関係	○数量関係の平均正答率は、61.4%で、県の平均を10.3ポイント上回っている。 ○「伴って変わる2つの数量の関係を式に表す」問題の正答率は、58.5%と、県の平均を21.8ポイント上回っている。 ●「折れ線グラフと棒グラフを読み取り、それを根拠に理由を説明する」問題の正答率は、15.9%で、県の平均を2.9ポイント下回っている。	・フォローアップシートでの復習をし、定着を図る。また、授業の中で式や図・言葉など多様な方法で表現したり、根拠を明らかにして説明したりする活動を取り入れていくことで、理解がさらに深まるようにする。